



器材ケースに白布をかけ、看護大派遣スタッフと
こころのケアに取り組む臨床心理士・澤田さん

救護班が器材を北見から持ち込み設営した仮設テントの診療所。被災
に遭われた方が診療に訪れ感謝された(旧釜石第一中学校敷地内)



空気はよどみ、体調不良を訴える人が多い、ここに避難している方を
往診(旧釜石第一中学校体育館避難所、この隣に診療所がある)

悪天候のなか救護活動は続く(避難所玄関)



写真特集

釜石救護班

写真提供

北見赤十字病院
会計課 主事
遠藤福之さん



多忙な救護活動のなかで近隣の避難所に往診する救護スタッフ



感謝していますとお礼のお菓子を



救護班の安全と健康を願って、南館玄関(3月26日)